

特集3 移住定住事業の内容について

委員会からは、「ふるさと勝山回帰事業」として行われた複数の事業について昨年度実績の報告を求めて予算を審査しました。

勝山市の企業の魅力を様々な機会で紹介し、学卒者等のリターンを促す事業ですが、現状把握が十分ではない為、効果が薄いとの意見が出され今後の課題としました。

また、担当課からは新規事業の「ふるさと回帰同窓会支援事業」について説明がありました。

これは一定の条件の下で勝山市内での同窓会の開催に補助金を出す事業です。

委員会では、補助対象者や対象経費について議論があり、次年度以降の検討を求めました。



編集 勝山市

特集4 暮らしのガイドブックの更新について

毎年発行されてきたガイドブックですが、「広報勝山お知らせ版」に挟み込む形にしたいとの説明がありました。

委員からは、保管方法や内容量において無理があるのではないかと意見が出され、担当課から、時間を頂き改めて説明したいとの申し出がありました。

後日の全員協議会において、昨年度のガイドブックから変更になった部分をお知らせ版に挟み込む形にしたいとの説明がありましたが、唐突であり手元に残していない家庭もあると思う、今年は今後の発行方法を周知し、平成31年度は発行すべきとの意見があり、協議の結果そのようにして進めることになりました。



今回の改正では、組織のスリム化、重点政策の着実な推進、市民サービスの向上に取組むため、13部局27課等を11部局21課等へ再編すること。また、※政策監を配置することの説明がありました。委員からは政策監の必要性

勝山市部設置条例の一部改正について

勝山市では平成30年度より勝山市育英資金奨学金の新たな返還減免制度を始め、勝山高校へのPRなども行いましたが、利用数が少ない結果となりました。委員からは申し込み時の連帯保証人を1名にできないか、生活基盤が整っていない返還とするなどの返還猶予条件の見直しができるかなどの意見が出されました。理事者からは、他の奨学金の利用数も多く、市の奨学金の利用が少ないということは、制度のどこかに問題点があると思うので、よく検討したいとの回答がありました。また、減免制度についても言及され、介護人材不足による介護福祉施設等の空きベッド解消に繋がるように、介護サービスに従事する方への減免を拡大できないかとの意見が出されました。理事者からは、他の奨励金とのバランスや必要とされる資格を精査するなど平成31年度中にしっかりと検討したいとの回答がありました。

勝山市育英資金特別会計予算について

審査の結果、議案27件について全て可決し、陳情3件のうち1件を採択、2件を不採択としました。

■今定例会の審査結果

総務文教厚生委員会

常任委員会報告

特集1 民生児童委員の活動

正式には、民生委員と児童委員ですが兼任する事になっており、厚生労働大臣から委嘱されます。勝山市では86人の方が活動されておられますが、報酬は無く、活動費として国と市合わせて年額7万3000円が支給されています。

委員会では、民生児童委員の仕事内容と費用の関係、地区ごとの活動量の差や人員の配置について議論が行われるとともに、地区社協コーディネーターとの関係についても確認がありました。

委員会として、仕事の明確化や地域ごとの平準化に課題があることを指摘しました。

特集2 白山平泉寺観光振興拠点の管理

この振興拠点の範囲は、平泉寺の精進坂前の二つの蔵と白山亭・トイレ・広場及び三つの無料駐車場です。これまでは業務委託で管理していましたが、契約期限切れにともない指定管理者制度を導入することになりました。

今議会では、指定管理者の選定については契約期間が5年間の第92号議案「白山平泉寺観光振興拠点の指定管理者の指定について」が建設産業委員会で審査されました。当委員会ではその平成31年度分の指定管理料について審査が行われました。

すでに、5年間の予算枠については12月議会において、債務負担行為として可決されていますので、一般会計当初予算に単年度の予算が盛り込まれました。

審査において、管理料の積算根拠や、提出された5年間の事業収支計画書では赤字が続くなど検討が十分ではない。事業計画書にも無理がある。契約期間を短縮して指定管理料を見直す必要があるとの意見が出されました。

これを受けて、契約について審査する建設産業委員会及び本会議が、予算委員会の休憩中に開かれ、「議案第92号」が撤回され後日、契約期間2年間の「議案第95号 白山平泉寺観光振興拠点の指定管理者の指定について」が提出されました。



特集

予算審査

新年度予算にみる
勝山市の動きを
チェック!

